

教育庁実施事業改善調書（平成19年度実施事業）

義務教育課（内線5229）

事業名	仲間同士の絆づくりプロジェクト	事業開始年度	平成19年度																				
事業の目的	いじめなどの対人関係の深刻な問題が発生しないよう、児童生徒相互、児童生徒と教職員相互の信頼関係や好ましい人間関係を築く。																						
事業の概要	<p>仲間同士の絆づくりを促進するための指導・援助の実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活スキルトレーニング（県教育研修センター研究開発）における集団生活スキル等人間関係に関するスキルを、アサーショントレーニングなど、論証のある様々な手法を積極的に活用して児童生徒に身に付け、児童生徒相互、児童生徒と教職員相互の人間関係の醸成を図る。 <p>指導・援助を行う学校・教職員の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係づくりに関する専門家（絆づくりサポーター（以下 サポーターとする））として臨床心理士、大学教授等を登録し、学校等からの要請に応じて派遣する。 <p>友達相談活動指導者研修会の開催（各教育事務所単位で実施。参加校 中学校233校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公立中学校全校での友達相談活動の実践と定着化を図るため、各教育事務所ごとに構成的グループ・エンカウンターや傾聴訓練の実施方法等を体験し、併せて理論の研修を行う。 																						
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・公立小中学校において、児童生徒がいじめや人権侵害について理解し、そのことが保護者にも伝えられる。 ・公立小中学校で、人間関係づくりに関して専門家が活用され、論証ある手法を用いて人間関係づくりの実践が行われる。 ・公立小中学校で仲間同士の絆づくりプロジェクトが実施され、児童生徒相互、児童生徒と教職員相互の信頼関係や好ましい人間関係が醸成される一助となる。 																						
アンケート調査結果	<p>今回は、サポーターの派遣についてアンケート調査を実施し、効果測定や今後の方向の検討を行った。</p> <p>調査対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒：サポーターの授業に参加した児童生徒 1校5人×12校 = 60人 ・教員：サポーターを活用した学校の教員 1校2人×33校 = 66人 ・サポーター 12人 <p>1 サポーターの有効</p> <p>(1)児童生徒の回答</p> <p>「サポーター」の授業は、あなたが友達と仲良く付き合うのに役立ちましたか。</p> <p>役に立った まあまあ役に立った 役に立たなかった(3)</p> <table border="1"> <tr> <td>38</td> <td>54</td> <td></td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>あまり役に立たなかった(5)</p> <p>(2)教師の回答</p> <p>「サポーター」は、学校における児童生徒の信頼関係や好ましい人間関係の構築に役立つものであったと思いますか。</p> <p>役に立った まあまあ役に立った 役に立たなかった(0)</p> <table border="1"> <tr> <td>50</td> <td>44</td> <td></td> <td>(%)</td> </tr> </table> <p>あまり役に立たなかった(6)</p> <p>2 有効であった内容（教師の回答）</p> <p>どのようなことがよかったですか。以下の項目から選んでお答えください。（複数回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で容易に専門家の話を聞く機会を作ることができた。 <table border="1"> <tr> <td>76</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと話をする際、どのようなことに留意するか分かった。 <table border="1"> <tr> <td>46</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに論証ある手法を指導する際、役立つ。 <table border="1"> <tr> <td>37</td> <td></td> <td></td> <td>(%)</td> </tr> </table>			38	54		(%)	50	44		(%)	76				46				37			(%)
38	54		(%)																				
50	44		(%)																				
76																							
46																							
37			(%)																				

<p>アンケート調査結果</p>	<p>2 必要とする研修内容（教師の回答） サポーターを活用する上で課題となることは何ですか。（複数回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポーターの派遣を希望する学校には、回数を増やしてほしい。 ・サポーターの人数が少ない。サポーターを登録して欲しい。 ・もっと多くの推奨プログラムを示して欲しい。 ・その他 <table border="1" style="margin-left: 200px;"> <tr><td style="width: 100px; height: 20px;">46</td><td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">(%)</td></tr> <tr><td style="width: 100px; height: 20px;">31</td></tr> <tr><td style="width: 100px; height: 20px;">31</td></tr> <tr><td style="width: 100px; height: 20px;">15</td></tr> </table> <p>3 サポーターが活動して良かったこと、気づいたことなど。（意見多数のもの）</p> <p>(1)良かったこと（絆づくりサポーターの回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで大人相手の活動が多かった。児童生徒にプログラムを実施し、指導の幅が広がった。 ・学校の先生方の熱意が伝わってきた。 <p>(2)気づいたこと（＃）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間づくりは短期間ではできない。学校においても継続した取組をして欲しい。 ・学校との連絡調整がなかなか取れなかった。 ・サポーターは、他のサポーターがどのようなプログラムを実施しているか見ることはできないので、年に一回程度研修会を実施して互いの情報交換や指導力の向上を図りたい。 <p>4 調査結果の分析</p> <p>(1) サポーターの有効については、学習に参加した児童生徒（92%）や教師（94%）のほとんどが「役に立った」、「まあまあ役に立った」と答えている。</p> <p>(2) 有効であった内容については、専門家の話を聞く機会を得たこと、必要とする研修内容については、派遣回数の増等について、教師から回答があった。</p> <p>(3) サポーターが活動して気づいたこと等については、継続実施の必要性やサポーター間の情報交換の必要性等の意見があった。</p> <p>以上のことから、小中学校にさらにサポーターの周知をしてより多くの学校に活用してもらうことや、教師とサポーターの協議会の実施等について検討する必要がある。</p>	46	(%)	31	31	15																																											
46	(%)																																																
31																																																	
31																																																	
15																																																	
<p>関連データ</p>	<p>平成19年度に登録された「絆づくりサポーター」による推奨プログラム</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">no</th> <th style="width: 40%;">推奨プログラムの名称</th> <th style="width: 15%;">手法</th> <th style="width: 5%;">no</th> <th style="width: 40%;">推奨プログラムの名称</th> <th style="width: 15%;">手法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>快話上達，コミュニケーション向上のヒント</td> <td>C,SST</td> <td>8</td> <td>CAP大人ワークショップ，子どもプログラム</td> <td>CAPプログラム</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>自分と友達，再発見</td> <td>SGE</td> <td>9</td> <td>ジャンケンボーリング&探偵ゲーム</td> <td>SGE，その他</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>明日から役立つコミュニケーションパワーアップコース</td> <td>C</td> <td>10</td> <td>出会い体験</td> <td>SGE，SST</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>私は，“名（迷）画家”？</td> <td>C,SGE,AT</td> <td>11</td> <td>親子の絆を深め，子どもの自立を促す方法</td> <td>C，その他</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「子どもの自立を促すコミュニケーション技術」</td> <td>C</td> <td>12</td> <td>フレンドシップ・サポート・プログラム</td> <td>AT,SST</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>自分の強みを探してみよう</td> <td>C</td> <td>13</td> <td>ハートの目で見える親子のコミュニケーション力UP</td> <td>C</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>聞くことの大切さを学ぶ</td> <td>C</td> <td colspan="3" style="text-align: right;"> 手法 AT：アサーショントレーニング SST：ソーシャルスキルトレーニング SGE：構成的グループエンカウンター C：コーチング </td> </tr> </tbody> </table>	no	推奨プログラムの名称	手法	no	推奨プログラムの名称	手法	1	快話上達，コミュニケーション向上のヒント	C,SST	8	CAP大人ワークショップ，子どもプログラム	CAPプログラム	2	自分と友達，再発見	SGE	9	ジャンケンボーリング&探偵ゲーム	SGE，その他	3	明日から役立つコミュニケーションパワーアップコース	C	10	出会い体験	SGE，SST	4	私は，“名（迷）画家”？	C,SGE,AT	11	親子の絆を深め，子どもの自立を促す方法	C，その他	5	「子どもの自立を促すコミュニケーション技術」	C	12	フレンドシップ・サポート・プログラム	AT,SST	6	自分の強みを探してみよう	C	13	ハートの目で見える親子のコミュニケーション力UP	C	7	聞くことの大切さを学ぶ	C	手法 AT：アサーショントレーニング SST：ソーシャルスキルトレーニング SGE：構成的グループエンカウンター C：コーチング		
no	推奨プログラムの名称	手法	no	推奨プログラムの名称	手法																																												
1	快話上達，コミュニケーション向上のヒント	C,SST	8	CAP大人ワークショップ，子どもプログラム	CAPプログラム																																												
2	自分と友達，再発見	SGE	9	ジャンケンボーリング&探偵ゲーム	SGE，その他																																												
3	明日から役立つコミュニケーションパワーアップコース	C	10	出会い体験	SGE，SST																																												
4	私は，“名（迷）画家”？	C,SGE,AT	11	親子の絆を深め，子どもの自立を促す方法	C，その他																																												
5	「子どもの自立を促すコミュニケーション技術」	C	12	フレンドシップ・サポート・プログラム	AT,SST																																												
6	自分の強みを探してみよう	C	13	ハートの目で見える親子のコミュニケーション力UP	C																																												
7	聞くことの大切さを学ぶ	C	手法 AT：アサーショントレーニング SST：ソーシャルスキルトレーニング SGE：構成的グループエンカウンター C：コーチング																																														
<p>今後の方向</p>	<p>1 教員，児童生徒，サポーターのほとんどが，当該事業の人間関係づくりに対する有効性を認めているため，今後も事業を継続する。</p> <p>2 研修内容については，各学校において実施された事例や意見等を紹介することにより，サポーターのより多くの活用，研修内容の充実を図りたい。</p> <p>3 教員やサポーターからの意見に対しては，今後，各方面から人材を募り，サポーターの登録数を増やすことや，また，サポーターの学校における指導力を高めるために連携を図る機会を設けることに努めたい。</p>																																																